

育児休業に関する体験記 1

30代 33日間取得

①家事・育児について

1. 育児休業前に、夫婦で家事・育児の分担をどのように話し合い、行ったか

私：家事全般（掃除、洗濯、料理、ゴミ捨て、買い物）

妻：育児（授乳、おむつ替え、寝かしつけ）

2. 育児休業後の家事・育児の参画の状況について

私：掃除、ゴミ捨て、買い物

妻：授乳、洗濯

（手の空いている方が、料理、ミルク、おむつ替え、寝かしつけ）

（妻 記載欄）休業取得者の家事・育児の参画の状況について

以前より、積極的に、家事・育児に参加してもらうことができた。

核家族で夫婦2人だけの慣れない育児だったため、お互いに負担を強く感じるがあった。産後は母子の支援に注目されがちだが、父親も支援の対象になると良いと感じた。

②仕事について

1. 休業取得前、仕事の引継ぎはどのように行ったか

上司に対応していただきました。休業取得前は、比較的短い時間で終わる現場を担当しました。

2. 評価・反省

上司の理解もあり、トラブルはありませんでした。

③自由記述

育児休業を取ろうと思ったきっかけは、産後の一番大変な時期を支えられるのは、私しかいないと思ったこと、育児に積極的に協力したいと思ったからです。

会社に相談したのは、出産予定日の3ヶ月前でした。会社に前例がないことや、仕事が忙しく、人手不足もあり、話を切り出すのは何度もためらいましたが、上司は受け入れてくれ、「頑張れよ」と背中を押してくれました。無事に息子が生まれ、自宅に妻と息子が帰ってきた日から、育児が想像以上に大変なことだと体感しました。日常的な家事や、オムツの交換、ミルクの授乳、抱っこに寝かしつけ・・・育児って、休む暇もない、こんなに大変なことなのだと思います。

日が経つにつれ、やっこの生活に慣れてきたと思ったのは、3週間が経つ頃でした。常に一緒にいないと絶対にわからない、日々の成長、表情の変化など、少しずつ感動を味わえるようになり、育児に楽しさを見出せるようになりました。

育児休業を取ってよかったと思うことがいくつもあります。妻と悩みを共有でき、妻のしてほしいことにすぐに対応できたこと、なにより、日々変わっていく息子の成長を目の当たりにすることができたことです。

職場への復帰後は、いままで以上に仕事へのモチベーションがあがり、仕事を切り上げる日と、そうでない日のメリハリをつけるようになりました。時間のやりくりを工夫するようになったと思います。

育児休業としては、1ヶ月の少ない時間でしたが、育児休業を通して学んだことは多く、育児が親の成長につながると感じ、育児に対する考え方が大きく変わりました。貴重な時間を過ごすことができ、育児休業を取得して本当に良かったと思います。

最後になりますが、今回、育児休業を受け入れてくれた、会社、上司、同僚にお礼申し上げます。